

教育目標『夢や目標をもって自ら学び、心豊かで、たくましい児童を育成する。』

美里町立南郷小学校



らぶびー南郷 2015

学校だより

〈第8号〉

平成27年7月3日

文責 教頭 高松 祐士

〒989-4205 美里町木間塚字高田5 Tel 0229(58)1106 Fax 0229(58)0461 <http://nango-es.misato-ed.jp>

7月の「お話朝会」 ～5年生の人権教室から～

「心の話」 ～いじめは! ゆるされない!!～

1日の「お話朝会」は『心の話』でした。校長先生は、5年生で行った人権教室の感想から、子供達がいじめについて感じていることや思ったこと、決意などを紹介し、いじめはどんなことがあっても許されない。1年生から6年生まで学校全体で、そして先生方全員でいじめをなくすよう、起こらないようにしていきましょう。と話しました。

<人権教室の感想①>

ぼくはゲームの中だと死ぬとか消えると言うこともあります。このドラマを見たら、そんな自分がバカに見えるようになりました。いじめを見てる人もすぐに言えばいいのと思うけど、実際に出合ったら何にもできなくなる自分が想像できます。ウザイと思って心の中で押さえてガマンしたいです。ぼくは絶対しないように決心しました。

<人権教室の感想②>

いじめは本当にダメなんだ。いじめをすれば死ぬかもしれない。絶対にいじめはやっちゃいけないんだと思いました。冗談でも「死ぬ」や「消える」など、物隠しをしたり、悪口を言ったり、暴力などをやってはいけいけないと思う。



美里町親善バレーボール大会 おめでとう!! 佐野・小島地区

6月28日(日)、美里町トレーニングセンターを会場に町P連バレーボール大会がありました。南郷小学校代表として、「袋・高玉地区」と「佐野・小島地区」が出場しました。

「袋・高玉地区」は健闘しましたが、予選ブロック1勝1敗で予選敗退でした。「佐野・小島地区」は予選ブロック2戦2勝で午後からの決勝トーナメントに駒を進め、準決勝を勝ち上がりました。決勝は不動堂中学校との対戦で、フルセットまでもつれ込む接戦となりました。3セット目も激戦となり、11対9という僅差で優勝を逃し、昨年に続き準優勝でした。試合には負けたものの、チームの団結力や子供達の応援などでは勝っていたのではないのでしょうか。来年度こそ、ぜひ優勝トロフィーを持ち帰ってほしいと思います。

出場していただきました保護者のみなさま、お疲れさまでした。また、会場まで足を運び応援をいただきましたみなさま、ありがとうございました。



平成27年度 宮城県学力・学習状況調査について

4月に、5年生を対象として、「宮城県学力・学習状況調査」が行われました。その結果出ましたので、お知らせいたします。

(1) 学習について

国語では、「言葉の学習としての文の構成(連体修飾語)や文の定義」は理解しており、「面の情景を叙述を基に想像しながら読むこと」ができていますが、「資料から読み取ったことを書く、2段落構成で文章を書く、4年生までに学習した漢字を書く」ことに苦手な傾向あることが分かりました。今後の授業では、自分の考えを順序よく書いたりまとめたりす活動や漢字の書き取りに取り組みせていきます。

算数では、「整数－小数の減法」「四捨五入して概数にする」「分度器の読み方」「立方体展開図」は理解できており、「表やグラフの見方や書き方」もおおむね理解ができていましたしかし、「小数×整数の乗法」「除法」「分数」「複合図形の面積を求める」「図形の約束や質」「伴って変わる2つの数量の関係」についてが苦手な傾向にあることが分かりました。後は、教材を有効に使ったり、繰り返しの練習をしたりなどの取組を多くして、理解の定を図っていきます。

(2) 生活について

基本的な生活習慣について、睡眠時間や朝食の摂取率はよくできていました。しかし、家での学習時間やテレビ・ゲームの時間については課題であることが分かりました。また、スマートフォンやインターネット等の使用方法も今後は心配されます。ご家庭との協力を得ながら望ましい生活習慣の定着に向け取り組んでいきます。

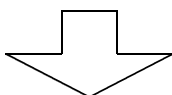
学校生活について、学級やグループでの話し合い活動への姿勢や授業中に分からないことがあったときその場で先生にたずねることのできる子供が多いよさが見られました。授業対する意欲もおおむね良好でした。今後も学校生活の中で、子供一人一人のよさを認める会を設定するなど、充実感を得られる体験を増やしていきます。

家庭学習の時間については、習慣がしっかりできている子供とこれから習慣を付けた方より子供の差が大きくなっています。

規範意識について、「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけいことだ」など、規範意識の高さが見られました。周囲に大切にされている、支えられてる、認められているといった実感を体験させることで、育てていきたいと思えます。

(3) 自己肯定感・自己有用感について

「ものごとを最後までやり遂げて、嬉しかった経験」「難しいことでも、失敗を恐れない挑戦すること」「自分には、よいところがある」などで高いポイントでした。志教育の意義に基づいた取組から、自尊感情が育っていることが分かりました。



この調査をもとにして

子供たちの「確かな学力」を育むために、学習内容の基礎・基本の定着を図るとともに、協力して学び合う(かかわり)、よりよく生きようとする(もとめる)、目標を立てて主体的に取り組む(はたす)児童の育成を目指していきます。